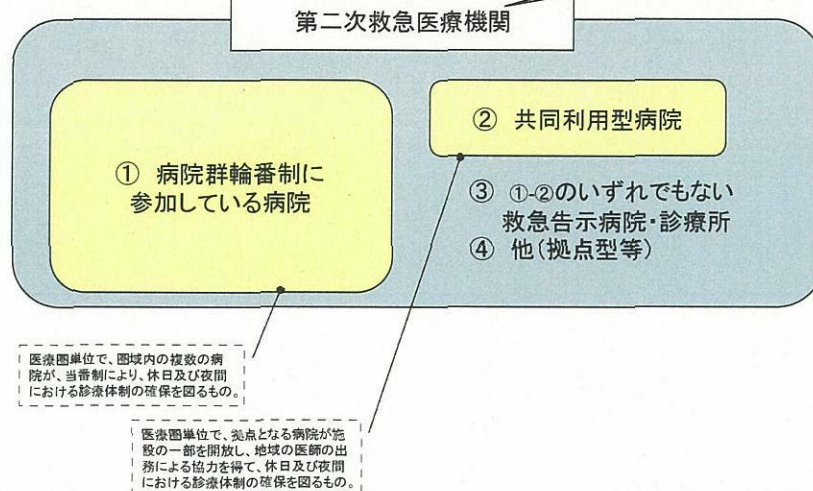


1. この調査について②（対象等）

- この調査の対象は、①②の病院が中心

入院を必要とする救急医療を担う医療機関として都道府県で定められた施設



2. 結果について①（概要）

- 第二次救急医療機関の体制や活動の状況は、都道府県ごとに、様々。
- 同一県内においても、状況は様々であるが、体制や活動が乏しいところが比較的多くを占める。
- ・ 体制については、医師が1名～2名体制である医療機関が7割。
 - ・ 活動については、数千台の救急車を受け入れる施設からほとんど受け入れていない施設までである。
 - ・ 受け入れている患者については、その多くが入院を必要としない外来診療のみの患者。